認定NPO法人チャリティーサンタ
Charity Santa

サンタ新聞

ANNUAL REPORT 2025-2026

子どもたちに
「愛された記憶」を
届けるために。

代表理事挨拶

認定NPOという新しい出発点に立って

2025年5月27日、チャリティーサンタは認定NPO法人になりました。
「認定になる予定はあるの？」と、楽しみに待ち続けてくださった方がいました。メールやSNSで声をかけてくださったり、葉書が届くこともありました。
その一つひとつが届くたびに、「早く応えたい」という気持ちを強くしていました。認定の知らせをお伝えできたとき、安堵と「さあここからだ」という気合いが、同時に込み上げてきました。
認定NPO法人とは、ゴールではなく出発点です。厳しい審査基準を満たし続けることは、皆さまの信頼に応え続けるという約束でもあります。2025年度は、その出発点にふさわしい新しい挑戦や、事務局管理体制の強化を積み重ねた一年でもありました。
ブックサンタ、シェアケーキ、シェアシネマに加え、テスト中の取り組みも動き始めています。どれも、皆さまの温かいご支援なしには続けられないものです。そのご支援のバトンを受け、一つひとつの企画を子どもたちと家族に届けるために、職員一同日々奮闘しています。



子どもたちに「愛された記憶」を届けるために。この節目を力に変えて、これからも一緒に歩んでいただけると嬉しいです。

チャリティーサンタ代表理事

清輔（きよすけ） 夏輝（なつき）

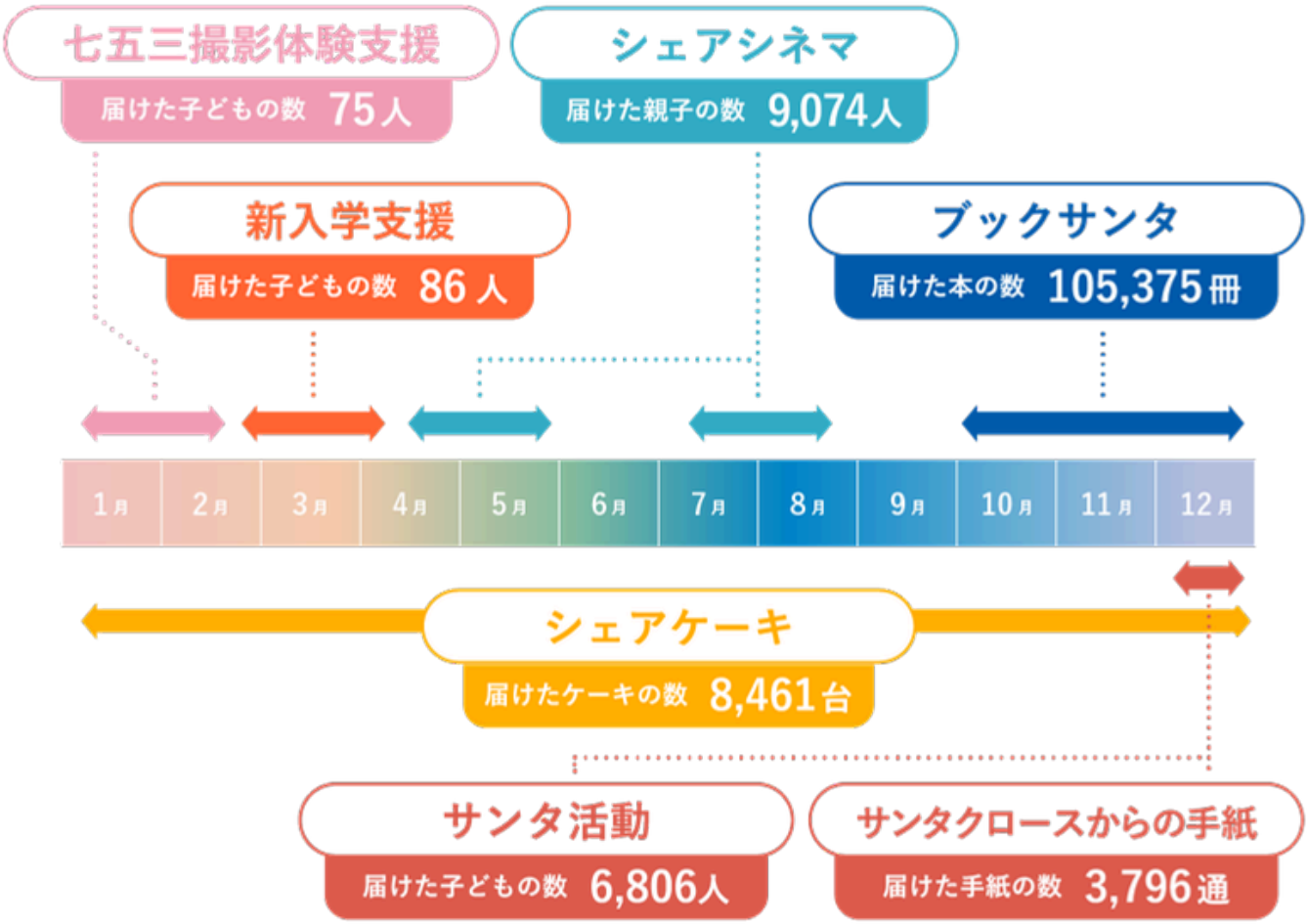
2025年度年間活動報告

ANNUAL REPORT 2025

チャリティーサンタという名前から、クリスマスに活動するイメージが強くある当団体ですが、私たちは子ども達の「思い出作り」や「体験」を届ける活動を、年間を通じて展開しています。

下記の表は、2025年度、私たちの支援活動で実際に子ども達やご家族へ届いた数の実績です。新入学や七五三といった「ハレの日」のお祝いから、映画やケーキを囲む日常のひととき、そして本やサンタクロースがもたらす冬の特別な体験まで、全国の皆様のご支援のもと、多様なアプローチで多くの笑顔を生み出すことができました。

クリスマスという特別な1日だけでなく、通年で子ども達の成長に寄り添い届けてきた「かけがえのない思い出」の成果を、本報告書にて詳しくご報告いたします。



サンタ活動

事業開始年 ／ 2008年～

事業内容 ／ 全国の支部がクリスマスにサンタとして家庭を訪問





サンタ活動は、地域の皆さまの温かいご協力のもと各家庭への訪問が実現できています。2025年度も皆さまの支えにより、全国44エリアで無事に活動を実施することができました。訪問後に全国のご家庭やボランティアから届く多くの声から、サンタクロースを心待ちにする子ども達の存在と、参加する大人にとっても特別な一日になっていることを実感しております。

2027年には活動開始から20回目のクリスマスイブを迎えます。これまで関わってくださった全ての方に深く感謝申し上げます。今後も一人でも多くの子ども達へ笑顔を届けるべく、活動の継続と発展に尽力してまいります。

活動地域 ／

32 都道府県 **44** エリア

※奥能登エリア含む

ボランティア数 ／

1,468 人

ブックサンタ

事業開始年 ／ 2017年～

事業内容 ／ 困難を抱える家庭の子どもへ新品の本を届ける





2025年度のブックサンタも、多くの寄付者や書店の皆様のご協力のもと、目標を大きく超える122,018冊の本が集まりました。今年度は新たに「応援しおり」を導入したほか、直木賞作家の今村翔吾氏が発起人となった「作家サンタとブックサンタ」には新に23名の作家が賛同してくださるなど、着実に支援の輪が広がっています。
また、国際的な「Golden Pin Design Award」や「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」を受賞するなど、国内外での高い評価をいただきました。2026年には10回目の節目を迎えます。今後も一人でも多くの子ども達へ、本と笑顔を届けられるよう活動に取り組んでまいります。

寄付冊数 ／

122,018 冊

参加書店数 ／

1,851 店舗

シェアケーキ SHARE CAKE

事業開始年 ／ 2021年～

事業内容 ／ 全国の洋菓子店と連携して誕生日ケーキをプレゼント





2025年度は「ケーキのWA」初のチャリティーソングの配信がスタート。さらに女優の鶴田真由さんが「ケーキのWA」賛同者に加わり、連携洋菓子店も店舗数が増えるなど支援の輪が広がった1年でした。

一方で物価高の影響もあり、家庭からの申請数は前年比1.7倍へ急増。3月からケーキのサイズを12cmに見直すこととなりました。ただLINE連携の導入やアレルギー対応のテストを開始するなど、より確実にケーキをお届けするための体制づくりも着々と進んでいます。

今後も皆様と共に、子ども達へ「生まれてきてくれてありがとう」を届け続けてまいります。

クラファン総額 ／

7,820,302円

※団体寄付含む

連携洋菓子店 ／

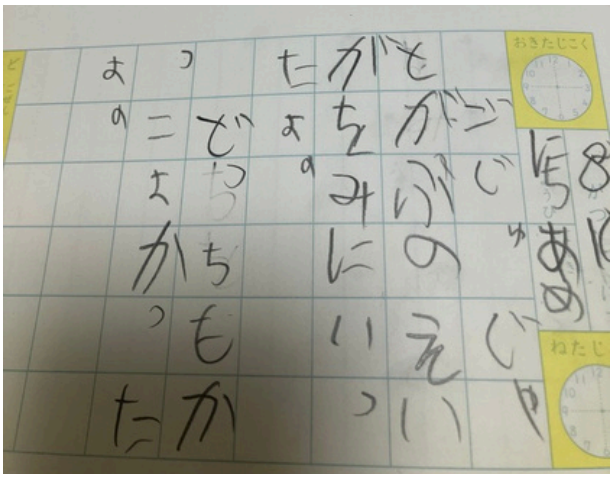
80店舗

シェアシネマ

事業開始年 ／ 2024年～

事業内容 ／ 寄付で、子ども達を映画館に招待





2025年度は、夏・春合計で9,074人の親子に映画館での鑑賞体験を届けることができました。イオンシネマ様との連携継続に加え、2025年夏には新たに東映株式会社様と連携し、映画『仮面ライダーガヴ　お菓子の家の侵略者、ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー　復活のテガソード』とのタイアップ寄付キャンペーンを実施しました。
また、認知拡大の取り組みとして2026年春の実施にあわせて、全国のイオンシネマ劇場内のデジタルサイネージでシェアシネマを紹介いただきました。映画業界の皆様との協働を通じて、さらに多くの家庭に映画館での特別な思い出を届けてまいります。

対象映画館 ／

400館以上

※全国のイオンシネマ、ムビチケ対応映画館

招待人数 ／

9,074人

数字に現れない「子どもの貧困」の実態とは



専門家に聞く「子どもの貧困」

『子どもの貧困』は経済的困窮だけでなく、『目に見えない困難』として表れることも少なくありません。川崎医療福祉大学の直島克樹先生によると、ひとり親家庭でも所得はあるのに親の掛け持ち労働で子どもの時間や体験が制限されたり、上の子が家事や下の子の世話を担う『ヤングケアラー』が『お手伝い』として見過ごされたりするケースがあるといいます。背景には、公的保障の薄さに加え、『働かないのは自己責任』と責める社会の空気があり、保護者を精神的に追い詰めています。さらに困っている家庭ほど地域とのつながりが薄れ、孤立しやすい傾向も。スマートフォンを持っているから貧困ではない、といった偏見も、実態の理解を妨げています。直島先生は、親が子どもの前で地域や社会に頼る姿を見せることの大切さや、困りごとを話せない人には無理に聞き出さず、話せるタイミングを待つ姿勢も必要だと語ります。見た目や声には出ない困難があることを知り、頑張る保護者を責めるのではなく、地域みんなで、子どもの成長を喜べる社会をつくっていくことが大切です。

PROFILE

直島 克樹

川崎医療福祉大学

専門は社会福祉学。岡山県内のこども食堂などのネットワーク化を進める一般社団法人岡山こども食堂支援センター代表理事、子どもの貧困対策センター公益財団法人あすのばアドバイザー、岡山市児童福祉審議会委員、岡山県男女共同参画推進センター運営委員会委員長なども務める。

企業による社会貢献事例

INTERVIEW



貧困や病気、被災などで困難を抱える子どもに新品の本を贈る『ブックサンタ』。
2021年から協賛するエア・ブラウン株式会社様では、部署や役職を越え社員自らが毎年1,000冊の本を選び、子ども達に寄付しています。企業として社会貢献活動に参加する意義を、経営ビジョンとの関わりも交えて教えていただきました。

1 社員の声から始まった活動

社内で社会貢献活動を公募したことがきっかけとなり、ブックサンタを知る社員が参加を提案。『豊かな社会創り』という経営ビジョンにも合致し、取り組みがスタートしました。

2 自分達が選ぶ1,000冊

初年度は有志のみで選書し、2年目から全社員へ拡大。2023年からは毎年1,000冊を選定し、子どもや自身の思い出を重ねながら一冊ずつ選んでいます。

3 社員自らが動く社会貢献の意義

大切なのは金銭支援だけでなく、社員自らが動くこと。部署やポジションを問わず、メンバーが対等に取り組める貴重な機会にもなっています。

PROFILE

エア・ブラウン株式会社

エア・ブラウン株式会社は、英国にルーツを持つ専門商社として70余年の間、エレトクロニクス、自動車、化学、医農薬、航空宇宙、バイオ、医療関連産業における最先端技術に関わってきました。経営理念の具現化のために“専門性と専門性を掛け合せ、その市場に新たな価値を提供し豊かな社会創りに貢献する”との経営ビジョンのもとに活動しています。

家庭からの声



「ごめんね」から「楽しかったね」へ。映画館で取り戻した親子の時間

シェアシネマ利用家庭

遠藤さん（仮名）

小学生の息子を育てるシングルマザー

映画館での鑑賞体験を届ける「シェアシネマ」。長引く物価高の中、「映画はめったに見に行けないので、最初から子どもが諦めています」と語っていた遠藤さん親子に、映画鑑賞を通じて訪れた“変化”についてお話をお聞きしました。

聞き手：物価高の中、我慢していることや不安なことはありますか。

遠藤さん： 食費を必要以上に減らすわけにはいかないので、お出かけなどの娯楽費を削らざる得ません。映画館も「贅沢品」なので「年に1回だけ」と約束し、飲み物なども買わずに連れて行くのが精一杯でした。

聞き手：1年に1回という約束の中で、お子さんが映画を諦めることもあったのでしょうか。

遠藤さん： 子どもは見たい作品がたくさんあると思うんです。ですが前作の『スーパーマリオ』の時も本当は見たいはずなのに、「テレビで見られるようになったら見るから」と諦めていて。

聞き手：今回の体験を経て、どのような気持ちの変化がありましたか。

遠藤さん： 映画が始まった時から、子どもがニコニコと楽しそうに見ていたのが印象に残っています。これまで映画の話題になると心の中で申し訳なさを抱えていましたが、帰り道は「楽しかったね」「あの場面すごかったね」と笑顔で語り合うことができました。

8〜10ページのインタビュー記事全文はこちら

寄付者・ボランティアの声

チャリティーサンタの活動は多くの寄付者、ボランティアの皆様の応援で成り立っています。事務局へ届いた声を紹介します。

誰かの心に寄り添えることを願って（ブックサンタ寄付者）

本に支えられてきました。小さな頃は絵本。小学生の頃は漫画で解説された四字熟語の本や歴史上の人物の本。それからは小説や雑誌、仕掛け絵本。たくさんの書籍が心の拠り所でした。父を亡くした今。父からプレゼントされた本たちが、いまも私を支え続けてくれています。誰かの心に寄り添えることを願って。

誰かの心に寄り添えることを願って（シェアケーキ寄付者）

村上信五さんが出演していたラジオをたまたま聴いて、この活動を知りました。自分の誕生日にケーキがないなんて考えたこともなかったけれど、それはとても幸せなことだったんだと気付かされました。



自分のためのホールケーキを目の前にして喜ぶ子供達やご家族の、大切な1日に関われたら、私にとっても幸せな1日になると思います。素晴らしい活動ですね。

子どもの笑顔がプレゼントに（サンタボランティア）

ドアホンを押してメリークリスマスと伝えると家の中から元気な声でサンタさんだーという声が聞こえました。
僕の名前なんで知ってるのと驚いていとことや、どこから来たのやどうやって見てたのと、興味津々で喜んでいたのがとてもうれしかったです。あの笑顔や声は自分へのプレゼントになりました。

協賛一覧

大日本印刷株式会社／デジタルアーツ株式会社／ピクシブ株式会社／SHIONOGI社会貢献支援会／株式会社学研ホールディングス／株式会社dr365／コスモヘルス株式会社／エア・ブラウン株式会社／GIC Private Limited／印刷工業会／一般財団法人ルビ財団／関西電力株式会社／アンデルセングループ／シュア・ジャパン株式会社／株式会社 幼児教育研究所／株式会社髙島屋／ギャップジャパン株式会社（バナナ・リパブリック）

地域活動協力企業・団体

広島風お好み焼きおこや／岡山東ロータリークラブ／公益財団法人岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場／NPO法人岡山市子どもセンター／クックチャム岡山目黒店／渋川動物公園（有限会社ナチュレ・ファーム瀬戸内）／株式会社ありがとうファーム／株式会社大町／株式会社ジュエリー・タナカ／ホテルアベストグランデ岡山／株式会社ボクデン／株式会社ポーラ・オルビスホールディングス／公益財団法人チャンス・フォー・チルドレン

サンタ活動の協力企業・団体

＜資金提供以外の協力あり＞
株式会社ファームズ千代田（美瑛）/文化シヤッター株式会社（文京）/吉野町市民プラザ（横浜）/常盤工業株式会社（浜松）/株式会社浜松白洋舎（浜松）

＜資金提供の協力あり＞
天龍ラーメン（福岡）/株式会社オモヤ（福岡）/有限会社藤見工務店（奈良）/有限会社大栄（奈良）/株式会社ユウゼン（奈良）/ちびっこ忍者（奈良）/GF共鳴会合同会社（奈良）

会計報告

収入の部

	2024年	2025年	前年比
サポーター会員受取会費	14,785,500	22,994,620	156%
受取寄附金	105,188,030	124,222,086	118%
受取民間助成金	34,370,714	53,410,504	155%
事業収益	14,738,755	15,317,145	104%
その他収益	707,913	914,645	129%
経常収益計	169,790,912	216,859,000	128%

1,667名の方が継続寄付で支えてくださっています。

助成金を活用して新規事業の立ち上げを行っています。

支出の部　事業費

2024年		2025年		前年比
人件費	40,592,703	人件費	57,736,214	142%
支給書籍代	31,304,581	支給書籍代	27,585,464	88%
支給ケーキ代	16,497,527	支給ケーキ代	24,457,213	148%
支給映画代	5,084,477	支給映画代	11,006,470	216%
消耗品費	3,410,155	消耗品費	3,902,457	114%
計	56,296,740	計	66,951,604	119%
会議費	1,413,171	会議費	509,074	36%
旅費交通費	2,227,613	旅費交通費	2,012,460	90%
業務委託費	13,717,734	業務委託費	25,763,249	188%
広告宣伝費	13,778,135	広告宣伝費	14,232,154	103%
荷造運賃	4,078,937	荷造運賃	4,893,226	120%
印刷製本費	4,214,632	印刷製本費	3,930,965	93%
減価償却費	39,430,222	減価償却費	1,328,415	-
地代家賃	-	地代家賃	6,507,600	-
その他事業費	4,842,815	その他事業費	14,528,756	300%

事業拡大に伴い、新規人材を採用しました。

リアル書店からの寄付が多く集まったことにより、書籍購入費用が減少しました。

8,461台のケーキをお届けしました。
（お届け台数には洋菓子店からの無償寄附を含み、支出には離島への送料等が含まれています。）

9,074人の親子に映画を届け、事業拡大に伴い支出も増加しました。

ブックサンタ事業で大型の仕分け機械を設置しました。

ブックサンタで使用している施設の家賃を管理費から事業費に是正しました。

支出の部　管理費

2024年		2025年		前年比
人件費	12,901,075	人件費	19,895,979	154%
業務委託費	6,659,921	業務委託費	3,110,600	47%
消耗品費	1,177,807	消耗品費	179,337	15%
地代家賃	7,452,900	地代家賃	356,400	5%
支払手数料	2,067,203	支払手数料	2,649,932	128%
旅費交通費	2,258,918	旅費交通費	1,030,619	46%
会議費	550,978	会議費	722,936	131%
通信運搬費	201,611	通信運搬費	52,772	26%
その他管理費	5,127,829	その他管理費	4,840,186	94%

事業拡大に伴い、新規人材を採用しました。

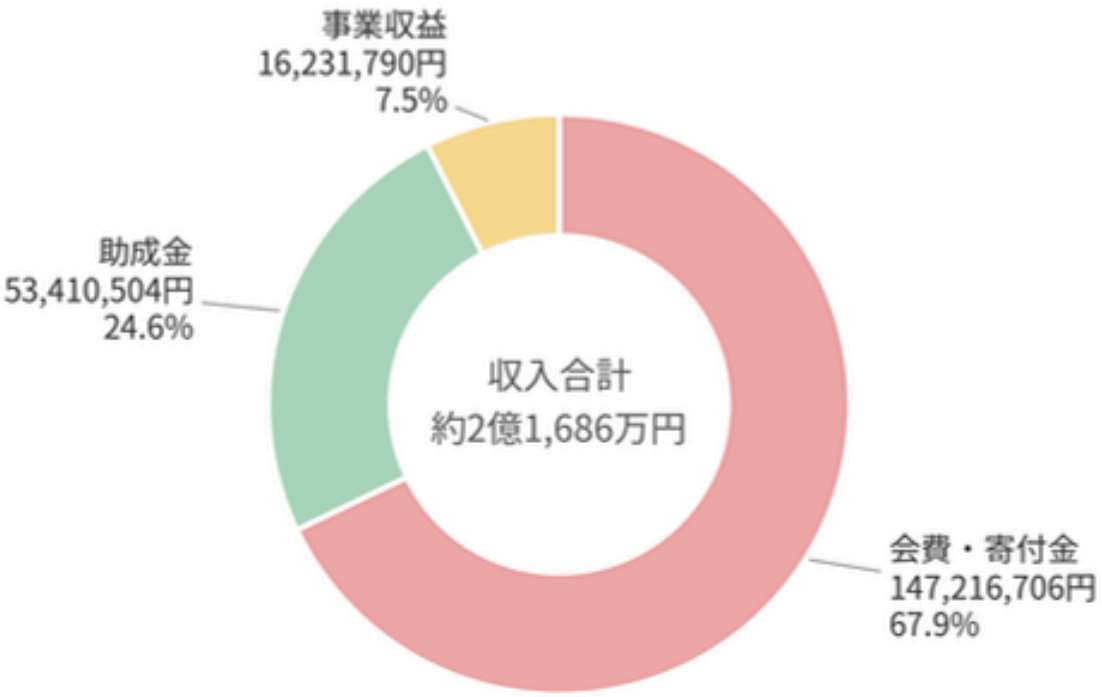
ブックサンタで使用している施設の家賃を管理費から事業費に是正しました。

決算書はこちら

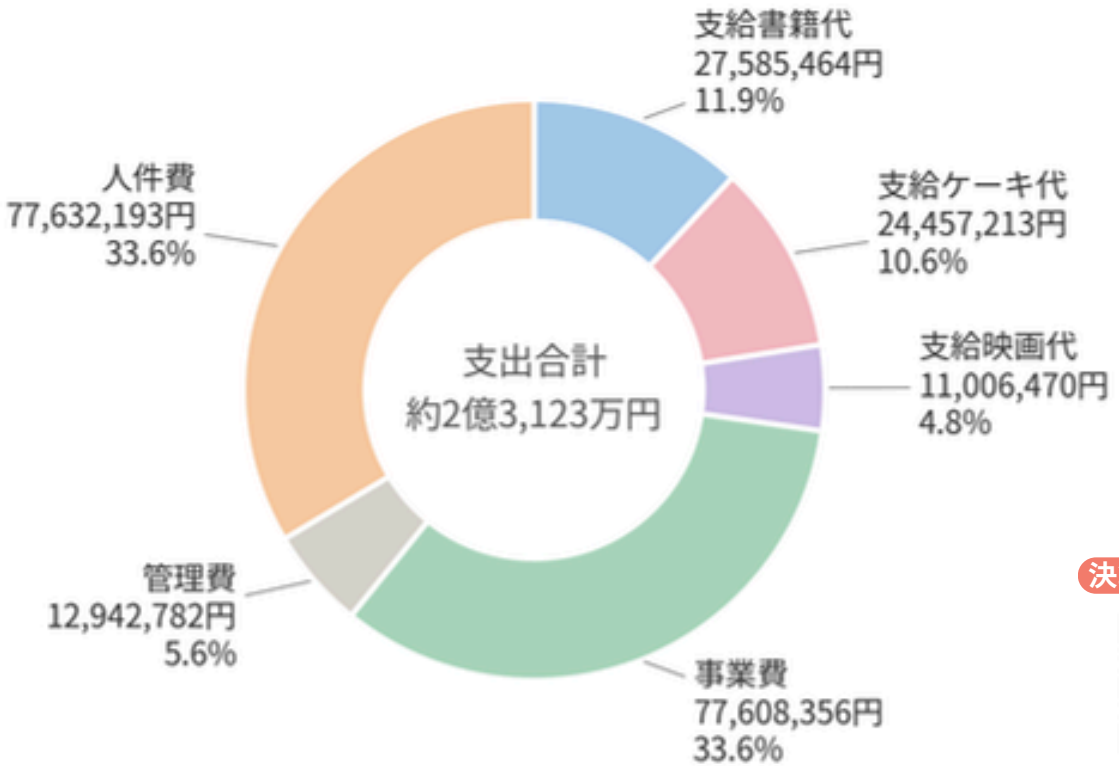
会計報告

今年度の収益は約2億1,686万円となり、前年より約4,707万円増加しました。会費・寄付金が収益の約7割を占め、多くの皆さまのご支援に支えられています。一方、支出は約2億3,123万円で、前年より約5,167万円増加しました。本・ケーキ・映画など子ども達へ直接届ける活動が大きくなり、費用も増加しています。

収入の部



支出の部



決算書はこちら